

大和の風

【第13号】令和7年10月17日発行

発行者 佐賀市立大和中学校

文責 木村 信人

<https://www.education.saga.jp/hp/yamato-j/>



学校目標：～夢や目標をもち、思いやりの心とチャレンジ精神に満ちあふれた生徒の育成～

第70回佐賀市中学校新人大会で輝く新チーム

(ホームページ用では、個人の名前は載せておりません)

10月11日(土)、12日(日)の2日間にわたり、佐賀市中学校新人大会が開催されました。本校からは計9競技に出場し、各会場で生徒たちが懸命にプレーする姿が見られました。

新人大会は、夏の中体連総体を終えて3年生が引退したあと、新チームとして臨む最初の大きな大会です。先輩たちの姿を胸に、日々の練習に励んできた生徒たちにとって、この大会は努力の成果を示す場であり、仲間とともに新たな歴史を刻む貴重な機会となりました。1956年に始まった佐賀市新人大会は、今回で70回目という節目を迎えました。しかし、今大会をもって、その長い歴史に幕を下ろすこととなりました。

男子バレーボールが優勝を果たしました。惜しくも勝利を逃したチームも、最後まで全力で戦い抜きました。また、レギュラー以外の選手や下級生、保護者の皆さまの温かい応援も、選手たちの力となりました。

勝っても驕らず、負けても課題を見つめ直し、来年の夏に向けてさらに成長してくれることを期待しています。

●柔道男子団体 準優勝

●柔道男子個人

第2位 ○○ ○○さん

第2位 ○○ ○○さん

第2位 ○○○ ○さん

第3位 ○ ○○さん

第3位 ○○ ○○さん

●軟式野球

準優勝

●バレーボール男子

優勝

●柔道女子団体 準優勝

●柔道女子個人

第1位 ○○ ○○さん

第1位 ○○ ○○さん

第1位 ○○ ○○さん

第2位 ○○ ○○さん

●サッカー

準優勝

●バレーボール女子

予選リーグ惜敗

●ソフトテニス男子団体

予選リーグ惜敗

●剣道女子団体

準優勝

●卓球男子団体

予選リーグ惜敗

●新体操個人総合

第5位 ○○ ○○さん

●ソフトテニス女子団体

予選リーグ惜敗

●剣道女子個人

優勝 ○○ ○○さん

第2位 ○○ ○○さん

第3位 ○○ ○○○さん

第4位 ○○ ○○さん

●卓球女子団体

予選リーグ惜敗

●バスケットボール(女子)

予選リーグ惜敗

「誰かの背中を押せる人に」 ― 駅伝大会で見た”大和中の心” ― 全校集会での話

最近あった出来事の中で、「大和中の生徒って本当にいいなあ」「入っていいなあ」と心から感じた場面を紹介します。

9月26日(金)、東与賀干潟公園コースで行われた佐賀市中体連駅伝競技大会に、大和中からは男女のチームが出場し、女子が5位入賞、男子Aチームが優勝、男子Bチームも18位と健闘しました。

男子のレースも終盤になり、Aチームが1位でゴールし、その後、他の学校の選手たちが次々とフィニッシュしていきました。大和中Bチームは、大きく遅れをとってしまっていました。

その時、走り終えた女子の選手たちや男子Aチームのメンバーが、息を切らしながら、必死になって、Bチームに「頑張れ!」「もう少しだ!」と大きな声で叫びながら、ゴール地点からコースの途中へと駆け出していきました。

自分たちも走り終えたばかりで疲れている中、先生に言われたわけでもなく、誰かに指示されたわけでもありません。仲間を思う気持ちが、自然と体を動かし、声となってあふれ出ていました。走っていたBチームの選手にとっても、大きな力になったことでしょう。

その姿を見て、私は胸が熱くなりました。

「大和中の生徒って、本当にいいなあ」「入って、やっぱりいいなあ」――そう心の底から思いました。

この出来事は、学校、学級での毎日の姿にも通じるものがあります。

クラスの中には、困っている人や、苦しんでいる人がいるかもしれません。そんな時に、その人のことに気づいてあげる人。

そして、声をかけたり、そっと手をさしのべたりできる人。みんなで応援し合いながら、一緒に前へ進む。誰一人として取り残さない。そんな温かい仲間のいる学校であってほしいと、私は心から願っています。

先週は新人戦がありました。これからは文化発表会や合唱コンクールが待っています。そして3年生は、いよいよ受験へと向かっていきます。どんな場面でも、仲間を応援し、励まし合いながら進んでいく。そんな気持ちが、自然にわいてくる学級、そして学校であってほしいと思います。

そして最後に――

誰かの背中を押せる人でいてください。その優しさが、きっと誰かの“次の一歩”につながります。

今日は、心に残った出来事の紹介と、私の願いをお話ししました。



○ 子どもたちの中に育ちつつある“思いやりの力”を、これからも大切にしていきたいと思います。

今後、学校 Web や学校だよりでの画像などの掲載で、都合が悪いことがありましたら本校教頭までお電話ください。